
合宿です！！全員集合！！

みさメロン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

合宿です！！全員集合！！

【Nコード】

N4907Z

【作者名】

みさメロン

【あらすじ】

スマブラメンバーが合宿を行います！

時には楽しみ、時には悲しみ、時にはみんなと戦い！！！！

なんと、SEGAからも合宿参加するキャラが……！！？

恋の行方は誰のもの……？そして別れるとき……。。
スマブラの合宿の様子をご覧あれ！！！！

合宿の始まりです！（前書き）

初の投稿となります！！

まだまだ未熟なんですが見てくれたら幸いです！！

それでは始めます！！！！！！

合宿の始まりです！

ある日の事・・・

ある人物、二人が話をしていた。

？「なあ、左。またあれでもしないか？」

？「おい、右よ、どうしたんだあ？」

右「マスター 左「クレイジー

マスター「だーかーらーあれだつて」

クレイジー「・・・。あああ！あれか？」

マスター「そう、あれ」

クレイジー「UNOかあ？」

マスター「・・・」

クレイジー「あら？違った？」

マスター「全然違うわああー！！！」

クレイジー「冗談・通じねーのかよお」

マスター「お前な・・・」

クレイジー「わーかってるって！あれだよな？」

マスター「・・・言ってみろ」

クレイジー「トランプだろ!!?」

マスター「ふざけるなあ——!!——!!」

((((「、、」ビ ((。)(ノム!!——!!

マスター

クレイジー

『乱闘中・・・』

クレイジー「ほんとーにわかってる・・・。合宿だろ・・・?」

マスター「ああ・・・」

クレイジー「で?俺にどうしろと?」

マスター「私は招待状送るから左は・・・」

クレイジー「改築すればいいかあ?」

マスター「ああ、よろしく頼む」

作者「あ、あっさりと・・・

」

場所は変わり・・・・・・・・

？「兄さん、手紙が届いてるよ」

？「なんだ？手紙で喜んでのかあ？」

？「いやいや、手紙で喜んでるわけじゃ・・・」

？「まあ、お前の事などどうでもええわ」

？「ひどいよ・・・、兄さん・・・、（、。）」

自称ミスター任天堂のマリオと永遠の二番手と呼ばれるが影が薄い
ルイージが話をしていた。

ルイージ「作者・・・、影が薄いは余計だか」・・・」

マリオ「だまれ、ルイージ！！出してくれるだけでありがたいと思
え！特にお前はー！」

ルイージ「作者も兄さんひどいや・・・」

落ち込むルイージ（　？　？）を無視し、マリオは封筒からあ
るものを出した。

マリオ「招待状？・・・ルイージお前・・・」

ルイーダ「どうせ僕なんか・・・、僕なんか・・・！」

マリオ「ああ、精神的ダメージが大きい・・・」

うん、あれは普通だ。大丈夫！！

マリオ「・・・。いや、あれ普通？・・・ルイーダ、お前にも招待状が来てるぞ」

ルイーダはマリオから自分の招待状を取った。

ルイーダ「ほんとだ！！！！・・・ってこれ・・・」

マリオ「スマブラ合宿の招待状じゃないか！？」

ルイーダ「ええええええ！？またあのおんボロの家で・・・？」

マスター「おんボロで悪いな！！」

マリオ「えつと前に行ったのはいつだっけ？」

ルイーダ「確か・・・7ヶ月前かな？Xメンバーで行ったときだよ」

マリオ「またXメンバーか？まあリストラ組はいらんけど・・・。」

リストラ組「リストラ組とかいうなあー！！」

マリオ「ぶえくしょん！！なんかリストラ組の声が・・・？んなわけないか！」

ルイージ「兄さん、早く準備しないと！」

合宿の始まりです！（後書き）

いかがでしたか？短くてすみません・・・。

感想お待ちしております！どうぞ遠慮なく言ってください！

これからも見てください！よろしくです！！ みさメロン でした。

合宿へ・・・Let's GO!?(前書き)

2話目！突入！

あんまりおもしろく無いかも・・・。
スマブラメンバー「いらん事をいうなあ!!!!」

合宿へ・・・Let's GO!?

ここは・・・？

そう、ここは・・・終点だ。

Xメンバーはもちろん全員・・・。

ん？あ、あれは・・・！！

リストラ組！！！！！？？

リストラ組「作者もリストラ組っていうなあー！！」

いや、だってほんとのことやん！！v）　　）ニヤッ

リストラ組「うう・・・」

マスターは今回の目的を話す。
そんな説明途中で突然真っ白な光に包まれた。

全員「目がつ……!!」

光が……

消えた……。

光が消えた後、一人の少女が立っていた。

？「痛たたたた……。あ、あれ？ここはどこ？」

？「ここは、終点よ」

スマブラメンバーの一人の女性が答えた。

彼女の名はサムス・アラン。バウンティハンターである。（今は、ゼロスーツサムス）

？「終点……。あれ、思い出せない……」

サムス「えっ！？記憶喪失！？」

？「……。いえ、そうではないのですが……」

？「あれ！？アルルか！？」

？「えっ・・・？君は・・・ソニック・・・！！？」

ソニック「どうしてこんなところにいるんだ？」

アルル「えっと・・・」

サマス「ちよつとまって！なんでソニックが知ってんの？」

ソニック「ああ、スマン。こいつはアルル。オレと同じSEGAなんだ」

アルル「あ・・・うん・・・」

サマス「同じSEGA・・・へえ」。あつ、話続けて」

アルル「え・・・はい。ソニックに用があつて家を訪ねただけど・・・」

『スマブラ合宿があるため外出してるぜ』って書いてあつて。スマブラに参戦してるのは

聞いているんだけど・・・。スマブラの世界ってどんなのかと思つてたら突然光に包まれて

気付いたらここに・・・」

サマス「なるほどね・・・」

ソニック「で、オレに用事があつたんだろ？なんだ、その用事って？」

アルル「・・・。ごめん、忘れちゃったよ（――；タラタラ」

ソニック「おいっ!!」

サムス「一応、記憶喪失ではないのね・・・」

アルル「えっと・・・ぼくこれからどうすれば・・・?」

サムス「マスター元の世界に送ってあげたら?」

マスター?「嫌だ」

サムス「なんで!?!」

マスター?「めんどいから。ってか、俺マスターじゃねーし」

全員（アルルを除く）「えっ!!?!」

マスター?「俺はクレイジーだっ!!」

全員（アルルを除く）「・・・」

全員（アルルを除く）「ええええええ！！！！？？」

クレイジー「気付くのおせーんだよ」

サマス「えっ？でもなんで？」

クレイジー「マスターの能力は相手を転送、物を作ったり・・・、そんな感じ。

で、俺は物を破壊したり・・・、まあたくさんあんだけよお、

あいつみたいな能力はないってわけだ」

全員「（例えば1つしかでてない・・・）」

サマス「じゃあ私たちは？これから合宿なのに、どうやって行くのよ？」

クレイジー「ここは終点。だからそんな能力が無くても行けるってわけ」

ソニック「じゃあさ、アルルは元の世界に戻ることが出来るんじゃないの？」

クレイジー「残念ながら、ムリだ。ここは任天堂の世界しか行き来出来ない」

アルル「って言うことは・・・」

クレイジー「お前も合宿に来るんだな」

アルル「改めまして、ぼくはアルル・ナジャ。SEGAの『ぶよぶよ』の世界から

来ました。よろしくお願いします」

全員「よろしく」

そうして、合宿に参加する事になったアルル。

？「（あの子、かわいいなあ）」

This is Marth. （こちらはマルスです。）

なぜ英語！？

アリティア王国の王子です。

マルス「（あの子も合宿するんだ……。チャンス！）」

？「何考えてんだ、マルス？」

マルス「わっ、ア、アイク！」

アイク「変な事考えるなよ？お前、女いるじゃん……」

マルス「シーダの事？」

シーダ「タリス王国の王女、マルスの婚約者。ここでは、シーダの片思いっていう設定です。」

アイク「ああ」

マルス「別に僕が好きじゃないし……。まさか、アイクも狙ってる、あの子？」

アイク「はあ？」

マルス「はあ？じゃない！！」

アイク「女なんか興味ねえよ」

マルス「じゃあ、手出さないでよ？」

アイク「……………」

マルス「でもアイク、妹いるのに……」

アイク「バカ！！俺はミストとシスコンじゃない！！」

マルス「そんな事は言っていないけど……？ってか、よくシスコンの意味知ってたね！」

アイク「シスコン言っくな！！」

合宿へ・・・Let's GO!?(後書き)

これで2話目も終了！

感想、ください!!

どしどし指摘ください!!悪いところがあれば直します。

部屋割り（前書き）

更新遅くなりすみません・・・！！

の、わりには短いかも・・・。

部活・・・、執行委員のスピーチ原稿書いたりとか・・・
はい、言い訳にしか聞こえませんかよね・・・

では、始まります！！

部屋割り

クレイジー「んじゃ、移動すつぞ」

クレイジー「着いたぞ」

全員「!!!?!」

ルイージ「めちゃくちゃでかい・・・、それにキレイ・・・」

クレイジー「今回は、改築したばかりのこの宿(?)で住んでもらう」

アルル「あゝ」

クレイジー「ん?どうした?」

アルル「ぼく荷物無いんですけど・・・?」

全員「・・・・・・」

クレイジー「ああ、それならマスターに言えば大丈夫だ」

アルル「は、はぁ・・・」

？「おお、来たか！」

全員（アルルを除く）「マスター！？」

マスター「ようこそ、ファイターたちよ・・・」

アルル「この人がマスター・・・？」

マスター「・・・？君は？」

アルル「は、はい！？」

マスター「なぜこんなところに？」

アルル「ぼ、ぼくはアルル・ナジャ。突然、真っ白な光に包まれ、
終点という場所にとばさ

れて・・・。帰る方法がわからずみなさんと一緒に合宿参加する事になったんです」

マスター「なるほど・・・」

アルル「・・・」

マスター「まあ、よからう。君にも参加してもらっ

アルル「あ、ありがとうございます」

マスター「では、部屋割りはこのようになってるからな

(なぜこんなところに他社の者が?)」

『部屋割り』 このようになってます

A マリオ、ルイージ、ドンキー、ディディーコング、ヨッシ
I、

キャプテン・ファルコン

特にない・・・(笑)まあ、仲が良さそう(?)組

B クッパ、ワリオ、ガノンドルフ、スネーク

悪っぽい・・・(スネーク以外)

C ロボット、カービィ、メタナイト、デデデ、Mr.ゲーム
&ウオッチ

なんか普通の人いねーな!

D フォックス、ファルコ、ウルフ、ソニック

ここ人いねえー!動物やん!!

(狐、鳥、狼、ハリネズミ)(笑)

E ピカチュウ、ルカリオ、プリン、ピチュー、ミュウツー
ここは、ポケモン組

F トウインリンク、ポポ(アイスクライマー)、オリマー、
レッド(ポケモントレーナー)、ネス、リユカ
ここは子供組?

G リンク、ピット、マルス、アイク、ロイ

ここは、剣士組かな？

H ピーチ、ゼルダ、サムス、ナナ（アイスクライマー）、ア
ルル

ここは・・・女組ですね

カービー「メタナイトは剣士組に入らないの？ピットって剣士組
？」

（まあ、メタナイトと一緒にだから変えてほしくないけど・・・
）

作者「んとね。うち、考えたんだ」

カービー「何を？」

作者「1頭身なんかいらんでしょう？つて！（笑）」

メタナイト「作者・・・やっていいか？」

作者「えっ……。ええええええー！？」

メタナイト「最後の切りふだ！ギャラクシアダークネス！！」

作者「だから待てー！ー！！！！つぎー！ー！！！！」

作者「メタナイトファンの方、申し訳ありませんでした・・・」

作者は全治二ヶ月の大怪我を負いました・・・。
。　　嘘ですけど・・・。

全員「当たり前！！！！」

部屋割り（後書き）

どうでしたか・・・っていいとこないですね・・・（汗）

こんなんでも感想を書いてくれたら嬉しいです！

今日、逃走中だった・・・

・ つか合宿内で逃走中やろっかなと思ってみようと思ってたのに・・・

特別編 プレゼントを渡しに part1（前書き）

相変わらず更新遅くてすみません！

ぶよぶよの新作のやつにはまっけてしもって・・・。
ペアでぶよぶよおもしろい！

ウィッチとシェゾの会話がおもしろくて好き！！

ウィッチ「あなたが欲しい。ですわ！」

シェゾ「な、何を言っているんだ！？」

ちなみに・・・

サタアルとシェアルどちらが好きですか？

ウチはシェアルです！

シェゾ「ヘンタイって言うな！！」

アルル「まだ、言っていないよぉ？」

かわいいです！！

サタン「愛の勝利だ！！」

アルル「違っつてばぁ！」

話が長くなりました・・・。

それでは、特別編です！どうぞ！！

特別編 プレゼントを渡しに part 1

作者（みさメロン）「では、クリスマスという事でプレゼントを配ろうと思います！」

？「ああ、ここかな？」

みさメロン「ああっ！来た来た！ゆうたん！こっちこっち！」

ゆうたん「こんにちはー」

みさメロン「今回は特別編という事で『スマブラX・ぷよぷよ7で逃走中』

を書いてるゆうたんに来てもらいました！！」

ゆうたん「ねえ、ところで今回の企画は？」

みさメロン「『クリスマスということなのでウチらがサンタになりプレゼントを

あげよう企画』です！」

ゆうたん「長いなあ・・・」

みさメロン「もちろん、この人（？）の力を借りますよ！？」

？「出番遅い・・・」

みさメロン「悪い、悪い・・・」

ゆうたん「つと言っ訳で僕とマスターが加わり3人でプレゼントを渡しに行きます!」

みさメロン「マスターはそのプレゼントを作る役です。いわゆる雑用係?」

マスター「はあー? 雑用係なわけ無い!! むしろ重要だろ!」

みさメロン「ごめん・・・、口が滑った・・・(笑)」

マスター「お前な・・・!!」

ゆうたん「まあまあ・・・」

みさメロン「マスター、魔法を使えるようウチとゆうたんに魔法かけて!!」

マスター「なんでだ?」

みさメロン「ウチはラッピング魔法、ゆうたんには・・・、手紙を思いのままに表せる

魔法を!」

マスター「人の話を聞け!!!」

みさメロン「そもそも、あんたは人ではない!!!」

ゆうたん「・・・確かに・・・(笑)」

マスター「笑うな!!」

みさメロン「まあ、いいから。早く!」

マスター「仕方ない・・・」

みさメロン「&ゆうたん「ヤッター!!」」

現在22:00

みさメロン「じゃあ、役割はOK?」

- 1、マスターがプレゼントを作る。
- 2、みさメロンがラッピングする。
- 3、ゆうたんがサンタからという手紙を書き、置く。

みさメロン「これでいい?」

ゆうたん&マスター「OK・・・」

みさメロン「では、これで寝ている人を捜しその家からプレゼントを」

渡していくよ！」

マスター「それも、私がつk」

みさメロン「まず1件目！」

ピピピーー！

ゆうたん「えーと、リュカの家だね」

みさメロン「子供だから寝るの早いね。マスター、ワープ！」

マスター「なぜ私が・・・？」

みさメロン「なんか言ってたかなー？」

マスター「いえ・・・」

特別編は12月24日。

本編は8月1日。

なぜ8月って？それは本編の話を考えたのが8月だから！
そん時はまだ登録してなかったからね！

みさメロン 「到着！」

ゆうたん 「僕たちは姿を消してるから、見られることは無いし、しやべっても

聞こえないから大丈夫！」

みさメロン 「えーと手紙・・・、欲しいものが書いてある手紙――」

ゆうたん 「あつたよ！」

みさメロン 「なになに・・・。『臆病にならない薬』？」

ゆうたん 「なんかリユカらしい・・・？」

みさメロン 「・・・まあいい！マスターでは・・・」

マスター 「ぶつぶつ・・・」 呪文的なものを唱えてる・・・

マスター 「はあああ！！！」

とそこに薬が入った小瓶が出てきた。

みさメロン 「次はラッピング魔法――！」

とキレイにラッピングされたものが・・・

ゆうたん 「最後に3人サンタからの手紙だよ――！！！」

と思いをそのまま表した手紙が出来た。

みさメロン 「よし！リユカへのプレゼント終わりー！」

ゆうたん 「次、行こーーううー！」

みさメロン 「次はネスの家に！」

ゆうたん 「来てまーす！！」

マスター 「（私が一番疲れる・・・）」

みさメロン 「なんか思ってる？マスター？？」

マスター 「いや、何も・・・（なぜわかる！？）」

ゆうたん 「ネスはバットとヨーヨーだって」

みさメロン 「新しいのにしたいのかな？」

3つの事をし、ラッピングされたバットとヨーヨー。手紙を付け加えて

みさメロン & ゆうたん 「終わりーー！！」

みさメロン 「あぁー！書くのめんどくさい！..」

ゆうたん 「と言う訳なそうなので・・・」

みさメロン 「申し訳ないが省きます!!」

ゆうたん 「次回にそれぞれ、誰が何を頼んだか」

みさメロン 「説明して逝こうと思います!!」

ゆうたん 「逝こうと思います!!」

みさメロン 「あらぁ？ウチもゆうたんも天国に逝っちゃうね!!」

みさメロン &ゆうたん 「ハハハハハ!!」

マスター 「バカか・・・？こいつら・・・」

みさメロン &ゆうたん 「うつさい!!..だまっとけ!!」

マスター 「.....」

特別編 プレゼントを渡しに part1（後書き）

今回は少し長かったです！

こんな中でも感想、評価などしてくれたら
嬉しいです！！！！！！

それでは次の話まで・・・！！
頑張って更新します！！

特別編 プレゼントを渡しに part 2 (前書き)

特別編の2話目です

特別編 プレゼントを渡しに part 2

みさメロン 「前回の引き続きです……。というけどいちいち軒一軒

まわるのめんどくさいので省略します!!」

ゆうたん「でも、誰が何を頼んだかは発表していきますよ!」

みさメロン 「しかも!時々どんな様子だったかお伝えして逝くと思います!」

ゆうたん「だから漢字!天国に逝っちゃうよ!」

みさメロン 「すみません……」

ゆうたん「まあ、始めていきますかね?」

みさメロン 「Yes!!」

まず前回の……

1、リュカ 臆病にならない薬 (リュカ・それはないやろ……)

2、ネス バットとヨーヨー (ネスらしい)

のところで終わりました。

みさメロン 「まわった順は……。もう決めるのめんどくさいからキャラクター

つていきます」

選択の左端から（マリオ、ルイージ……）とや

ゆうたん 「めんどくさがり屋？」

みさメロン 「そー、かもね……」

と言う事で3件目は『マリオ』プレゼントは……

『超レアスーパーキノコ』

みさメロン 「どんなキノコ……？」

ゆうたん 「さ、さあ……？」

続いて4件目！『ルイージ』プレゼントは……

『影が薄くならない薬』

みさメロン 「……。これ飲んじやったらルイージのいいところ無いじゃん!」

ゆうたん 「確かに……。てか薬シリーズ第2弾(笑)」

5件目! 『ピーチ』プレゼントは……

『マリオ』

みさメロン 「……(笑)」

ゆうたん 「……(笑)」

マスター「……う、これはどうすると……?」

みさメロン「どうしよっか……?」

ゆうたん「もういつそのことマリオを転送すれば……?」

みさメロン「もう、そうしよう……。マリオのプレゼントも送るんだよ?」

マスター「……わかった」

6 件目!『クッパ』プレゼントは――

『ギガクッパ』

みさメロン「……。えーと……?」

ゆうたん「スマッシュボールあげれば……?威力は弱め、時間も短めにして」

みさメロン「うん、そうしよう」

7件目！『ドンキー』プレゼントは……

『バナナ300本』

みさメロン & ゆうたん「うん、なんとなくわかってた……」

8件目！『ディディーコング』プレゼントは……

『バナナ200本』

みさメロン & ゆうたん「うん、ドンキーと一緒にだと思ったよ」

9 件目！『ヨッシー』プレゼントは・・・

『大量の食べ物』

みさメロン　& ゆうたん「もう、だいぶわかってきた・・・」

10 件目えー！『ワリオ』プレゼントは・・・

『金』

ゆうたん「えーとっ？」

みさメロン「図書カードにしよう！」

ゆうたん「なんで？」

みさメロン 「一応金だよ！本しか買えないけど・・・さっ！ワリオ
だし！？」

ゆうたん 「それならいいね！！」

11 件目！『リンク』プレゼントは・・・

『ゼルダに想いを伝える薬』

みさメロン 「出ました！！薬シリーズ第3弾！！」

ゆうたん 「出ましたね！！」

12 件目！『ゼルダ』プレゼントは・・・

『リンク』

みさメロン 「ピーチと同じかいっ!!」

ゆうたん 「なら、リンクの元に転送だね!」

みさメロン 「リンクのプレゼントほとんど意味無い・・・。
両想いだし」

ゆうたん 「そうだね・・・」

13件目『ガノンドルフ』プレゼントは・・・

『スマッシュボール×30』

みさメロン 「30個!!?」

ゆうたん 「かなり威力の低いもの30個でいいんじゃない?」

みさメロン 「そうだね!!ってことで、マスター」

マスター「つ、疲れる・・・」

みさメロン「うーん

頑張っ
て」

マスター「・・・（これがあと何回続くんだ・・・？）」

みさメロン「ってことで次回に続くよー！！」

特別編 プレゼントを渡しに part2（後書き）

感想、評価ください!!!

特別編 プレゼントを渡しに part3 (前書き)

アルル「ねえ、クリスマス過ぎたけど・・・？」

みさメロン「自分の本編入りたい・・・」

全員「じゃあ入れよ!!!」

みさメロン「冷たい・・・(泣)」

マリオ「アイク、作者の機嫌直して来い」(小声)

アイク「なんで、俺・・・？」(小声)

ルイーダ「作者はアイクの事好きだから」(小声)

アイク「だからなんで？」(小声)

全員(アイクを除く)「早く!!!」(小声)

アイク「ちよっ!」

みさメロン「ア、アイク・・・」

アイク「あー、さっきのは悪かった・・・」

みさメロン「じゃあアイクだけ許す!!!&出番増やす!!!
さらに肉も付けてあげるよぉ!!!」

アイク「マジっ！！？」

みさメロン「マジで」

アイク「サンキュー！！」

全員（アイクを除く）「えっ！！？」

長くなりましたがどうぞ・・・！！

特別編 プレゼントを渡しに part 3

みさメロン 「では・・・。次はトゥーンリンクからだね！」

ゆうたん 「そうだね!-!」

14 件目! 『トゥーンリンク』プレゼントは - - -

『勇者になれる薬』

みさメロン 「薬シリーズ第4弾・・・」

ゆうたん 「で、言うか。なれてると思う・・・勇者に・・・」

みさメロン 「た、確かに・・・」

15 件目! 『サムス』プレゼントは - - -

『モテる薬』

みさメロン 「今回、まさかの薬シリーズしか・・・!?!」

ゆうたん 「ええー!?!」

みさメロン 「まあ、おっさん達にモテときなよ・・・」

ゆうたん 「・・・(笑)」

みさメロン 「あつ・・・!それか『持てる』と言う事なので力持ちになれる薬にしたら!!」

ゆうたん 「そ、それは・・・」

16件目! 『ピット』プレゼントは・・・

『人間に戻る薬』

みさメロン 「ねえ・・・ゆうたん？」

ゆうたん 「・・・何？」

みさメロン 「ほんとにそうかもよ・・・」

ゆうたん 「そうだね・・・」

マスター 「なあ、人間に戻る薬つくるのかあ？」

みさメロン & ゆうたん 「ああ！！マスター！！いたんだ！！？」

マスター 「居るわあ！！！！！！」

みさメロン 「一日だけなれるような薬作つといて！ウチ等次の人のプレゼント見て

つつこまなあゝいけんから！」

マスター 「・・・」

17件目！『アイスクライマー』プレゼントは・・・

『ハンマー×2』

みさメロン 「いや……。つつこむ所無かった……」

ゆうたん 「確かに……」

みさメロン 「ネスと同じ……。？新しいのにしたかったのかな？」

ゆうたん 「そうかも」

18件目！『ロボット』プレゼントは……

『ハイワ』

みさメロン & ゆうたん 「どうしと……？」

と結構悩まされた二人……

マスター 「いや！二人じゃ無い！！！！！！」

みさメロン 「あれー？誰がいる？」

ゆうたん「いや、いないと思う・・・（笑）」

マスター「だから笑うなあー！！！」

19件目！『カービィ』プレゼントは・・・

みさメロン &ゆうたん「どーせ食べ物だろ・・・」

『カレー×50、シチュー×20、マキシムトマト×100、メロ
ンパン×100、

牛丼×50、オムライス×20、アイスクリーム×1000、バ
ナナ×50、

グラタン×30、・・・（たくさんの食べ物）』

みさメロン &ゆうたん「・・・」

みさメロン 「普通・・・？」

ゆうたん「つつこむ所無い・・・」

21件目！『デデデデ』プレゼントは・・・

『ハンマー』

みさメロン &ゆうたん「はい・・・」

22件目！『オリマー』プレゼントは・・・

『ピクミン』

みさメロン 「うん、すぐ死んじやうもんね」

ゆうたん 「そうだね」

続く・・・！？

特別編 プレゼントを渡しに part3（後書き）

すみません!!

最後、ぐだぐだです……。時間が無かったもんで……

こんなんでも感想、評価してくれたら嬉しいです!!

何書いてもいんで!!。お願いします!

前書きの続き?

マリオ「作者を殺ろう!!」

みさメロン「あつ、なんかみんなで来やがった!アイク準備は?」

アイク「OK……」

マリオ「行けーーーー!!」

アイク「最後のきりふだ……

大天空!!!!」

全員（アイクを除く）「えつつつ!!!!!!?」

マルス「なんでアイクが……!!?」

みさメロン「教えてあげる。

肉だよ!!!!!!!!!!」

全員（アイクを除く）「はあああああ————!!!!!!??.?」

次回の前書きに続く!?

本文の最後に続く!!

特別編 プレゼントを渡しに part 4

みさメロン 「今回で終わるよ!」

ゆうたん「では、さっそくやろう!」

23件目!『フォックス』プレゼントは――

『ランドマスターの強化』

みさメロン & ゆうたん「あれ以上強化になるとヤバイって!」

24件目!『ファルコ』プレゼントは――

『ブラスターの強化』

ゆうたん「なんでこれ!？」

みさメロン「あゝわかった!そうめんを強化したかったんだ!!
うんうん・・・」

ゆうたん「!？」

25 件目!『ウルフ』プレゼントは――

『ランドマスター改(赤いやつ)の強化』

みさメロン & ゆうたん「フォックスと同じ!!？」

26 件目!『キャプテン・ファルコン』プレゼントは――

『足が速くなる薬』

みさメロン 「ソニックが出て2位になったから？」

ゆうたん 「そうかもね」

27件目！『ピカチュウ』プレゼントは――

『電気』

みさメロン &ゆうたん 「はiiiiiiiiiiiiiiiiiiii!?!?!?!?!」

みさメロン 「どうしょっか・・・」

ゆうたん「まあ、マスターに任せよう!」

マスター「はぁーーーー!」

みさメロン「うん、そうしよう!」

マスター「待てええ!」

みさメロン「待てと言われて待つ奴はいねーーーー!」

ゆうたん「確かに・・・(笑)」

マスター「笑うなと何度つっこませる気だ!」

みさメロン「次!次!」

マスター「強制終了!」

みさメロン「はい! (。 ^*)」

マスター「(泣)」

28件目!『ポケモントレーナー』プレゼントは・・・

『マスターボール×30』

みさメロン 「えーと、これでステージに出てくるポケモンゲットするき？」

ゆうたん 「そう、かも・・・」

みさメロン 「うち、バグ（っていうか裏技というか・・・）でマスターボール

作りまくったけど・・・」

ゆうたん 「・・・」

29件目！『ルカリオ』プレゼントは・・・

『出番が増える薬』

みさメロン 「ごめん・・・、あんまりルカリオ使わんし・・・」

ゆうたん 「これはみさメロン が決めることだね」

みさメロン 「そうだね」

30件目えー！『プリン』プレゼントは――

『マイク』

みさメロン 「大きい声で歌ってるのに、マイクなんか使って歌うと・・・」

ゆうたん 「重症だね・・・」

みさメロン 「確実に・・・、やられるね・・・」

31件目！『マルス』プレゼントは――

『アイクより人気が出る薬』

「残念だね！ウチはアイク派だ――！！！！友達に聞いても

15対2ぐらいでアイクの勝ちなのさー！！そ

意味は無い！！！！！」

ゆうたん「す、す、す……」

32 件目！『アイク プレゼントは - - -

「ウチにはアイクの頼んでいるものがわかる……！」

ゆうたん「(さっきあんなの聞いから) よっぱど自信があるんだ・・」

みさメロン 「もっちろん!!」

ゆうたん「（僕にもわかるけど……）何？」

「肉ううううー！！！！！」

みさメロン 「！！！！」

ゆうたん「（やっぱり・・・）だよね・・・」

みさメロン 「しか無いよ！」

『肉×100（高級の）』

ゆうたん「何！？最後の（ ）の中の『高級の』って・・・」

みさメロン「マスター！！！！高級なを用意！！！」

マスター「はいはい・・・」

みさメロン「何！！！！！！！！？？？文句でも！！！！？」

マスター「いえ・・・」

ゆうたん「恐るべし・・・」

33件目！『Mr・ゲーム&ウォッチ』プレゼントは・・・

『ハイワ』

みさメロン & ゆうたん「ロボットと一緒にかよー！！！？」

34 件目！『スネーク』プレゼントは・・・

『女が欲しい』

みさメロン「シエゾか！！！！！？？」

ゆうたん「へ・ん・タ・イ！！！」

みさメロン「まさに！！！！」

シエゾ「ヘンタイって言うな！！！！」

35 件目えー！ みさメロン & ゆうたん「ラストーーーーー！
！！」

『ソニック』プレゼントは・・・

『溺れない薬（泳げるようになれる薬）』

みさメロン 「ソニックって泳げないんだっけ……？」

ゆうたん 「た、確か……」

みさメロン 「最後の最後に薬シリーズ……」

ゆうたん 「薬シリーズ第10弾……」

マスター 「つ、疲れた……死ぬ……」

みさメロン 「あつそ……」

マスター 「（泣）」

ゆうたん 「みさメロン お疲れ〜！」

みさメロン 「お疲れ〜！ゆうたん！」

ゆうたん 「それでは……」

みさメロン & ゆうたん 「かんぱ〜い！〜！」 ジュースです

みさメロン 「おいし〜い！〜！」

ゆうたん「うん!!」

みさメロン「と言う事で・・・」

ゆうたん「特別編は今回で終了ーです!!」

みさメロン「ありがとうーございましたー!!」

前書きの続き

グレイル傭兵団メンバー

(団長)アイク (副長)ティアマト (アイクの妹) ミスト
セネリオ、オスカー、ボーレ、ヨファ、シノン、ガトリ、キルロ
イ、ワユ
(オスカーとボーレとヨファは兄弟)

アイク「マルス、行くぞ!!」

マルス「!？」

アイク「はあ!!」

マルス「よっ!・・・人数的にこちらが有利・・・」

アイク「？」

マルス「ロイ、リンク、ピット！！！！」

アイク「！！？」

キンー！！

アイク「4人相手が・・・」

リンク「隙やり！！」

？「そうはさせないよ！！！！」

アイク「ワユ！！」

ワユ「流星！！！！」

4人「！！！！？」

ワユ「はあ！！」

4人「わっ！！！！」

ワユ「よーっし！絶好調の剣の冴え。我ながら惚れ惚れしちゃう
ねえ！」

アイク「ワユ、助かった」

ワユ「ゼーんぜん！大将にはまだだよ！」

人数はスマブラメンバーのほうが多いのにグレイル傭兵団が勝ちました！！

特別編 プレゼントを渡しに part 4（後書き）

見てくれてありがとうございます!!
こんなんでも感想、評価ください!!

グレイル傭兵団、こんな感じで初登場・・・。

これからも出していけたらな・・・。

アイク「俺とワユとセネリオしかしゃべってないが・・・？」

まあ！気にすんな！！

グレイル傭兵団（しゃべってない人）「気にするわあ！！」

久しぶりの本編！（前書き）

やーっ和本編です！！

特別編長かった・・・。

今日2話更新出来た！！って言うのは特別編書く気なかったから先に書いてたんだよね・・・本編の方。

無駄話はさて置き・・・どうぞ！！

久しぶりの本編！

現在 10:00

マスター「では、夕食まで自由時間だ。昼は12時に食堂へ集合だ。
では、解散！」

子供達「わぁーーーーー！！」 作者「やっぱり子供！」

と鬼ごっこして遊ぶ子供達 作者「はやっ！！」

？「ねえ、私達はお茶でも・・・」

？「いいわね」

？「私もいいかしら？」

とゼルダ、ピーチ、サムスは3人でお茶をするらしい。

アルル「ぼくは、ここらを回ってみよう」

と来た事の無いアルルは合宿所の近くを見て回るらしい。

？「マルス」。剣の稽古しようぜ！」

マルス「（アルル・・・、どこかに行くみたいだしついて行こう）」

ストーリーカー（笑）ですね・・・）

、艸、）フ、ハッ

マルス「失礼だな・・・!!」

？「おい、マ・ル・ス!!」

マルス「あっ・・・、なんだいロイ？」

ロイ「だから、剣の稽古しようぜ？」

マルス「あぁー、うん。

パス　するよ（＊・　＜＊）

ロイ「・・・」

マルス「アイクとでもやつとけ!じゃあ!」

ロイ「って、どこ行くんだー!!?」

ロイの言葉を見殺しに去っていくマルス……。

ロイ「まっ、いつか……。……アイク？ 稽古しようぜ！」

アイク「ああ……」

？「待って！ 僕も混ぜて」

？「俺も入れてくれ！」

ロイ「ピットにリンク！ いいよ、……。……ってか乱闘すりゃーいいじゃない！」

ピット「さんせーい」

アイク「まかせた」

リンク「では、移動しましょうか」

合宿所のまわりを見て回るアルル

アルル「へー、キレイな海があるんだ……」

？「それはスマブラ海。マスターが作ったものだよ」

ネーミングセンス無い！！

アルル「わっ！？だ、誰！？」

？「あつ、ごめん。僕はマルス。よろしくね」

アルル「・・・（ビククリした・・・。美形さん・・・）」

アルルはこんな事思わない
か・・・

マルス「だから失礼だつて！！」

マルス「ねえ君の世界はどんなところ？」

アルル「・・・」

マルス「あれ？聞いたらだめだった？」

アルル「あつ、いえ・・・」

マルス「・・・？」

アルル「楽しいところだよ」

マルス「ねえ、向こうにはどんな人がいるの？」

アルル「そうだね。ぼくを勝手にフィアンセとか言う人とか・・・、
ぼくの魔力を欲しがってる人とか・・・、勝手にライバル
にする人とか・・・」

ぷよぷよ知ってる人はお分かりでしょう・・・？

マルス「えっ！！？ふい、フィアンセ！！？」

アルル「まあ、しつこく言う訳・・・」

マルス「それは大変だね」

アルル「マルスさん、どうしてここに？」

マルス「あつ・・・。えつと・・・」

アルル「・・・ごめん。何でも・・・」

マルス「あ、あのさ？」

アルル「はい？」

マルス「呼び捨てとタメ口で」

アルル「は、はい・・・」

マルス「・・・（いざとなると何を話せば・・・）」

アルル「では、マルス。ぼくはこれで！」

マルス「えっ？どこに行くの？」

アルル「初めての場所だからグルツと見て回ろつかと・・・」

マルス「それなら僕も一緒に行くよ」

アルル「いいですよ！そんな・・・」

マルス「なんかあつたらいけないしね」

アルル「そ、そう・・・？（大丈夫だけど・・・）」

散歩中（？）・・・

二人の会話に花が咲いた・・・

アルル「楽しかったよ、マルス！ありがとう！！」

マルス「こちらこそ！」

と、マルスに何もされず無事帰ってこれたアルル。

マルス「だから、何もしないって!!」

いやあ、あんたの事だからなんかしそつで・・・

マルス「失礼なあ!!」

？「アルルさくん!!一緒に鬼ごっこしよう!!」

と話しかけて来たのはポポだった。

アルル「ふえ!?え、えーとっ・・・」

突然声をかけられたもんだから驚くアルル。

？「あつ・・・自己紹介遅れたね。ぼくはポポだよ」

アルル「あ、うん・・・よろしくね、ポポさん」

ポポ「『さん』は要らないよ?ぼくもさん付けしなくていいかな?」

アルル「うん」

？「ポポまだあ?」

ポポ「あつ、ナナ!」

ナナ「ポポ遅いよ」

ポポ「ごめん・・・って今話しかけたところだし・・・」

ナナ「わたしはナナ！ねえ一緒に遊ばない？」

ポポ「無視！？」

アルル「ぼくはアルル。ぼくでなければいいけど・・・？」

ナナ「ヤッター！！みんないいってよ！！」

子供達「イエーイ！！」

アルル「！？」

？「僕はネス！よろしく！！」

？「ボクはリュカだよ」

？「僕はトウーンリンク！」

？「ぼくはピカチュウ！よろしく」

？「ピカチュウの弟、ピチューですう！」

？「僕はポケモントレーナーこと、レッドだよ」

子供の保護者的な存在。

？「わたしはプリンでしゅ。歌うことが好きでしゅ、ここで1曲・・・」

」

子供達「わああー！！待った！！遊ぶ時間がなくなるからあ！」

プリン「仕方が無いでしゅ・・・」

アルル「えっと・・・。ぼくはアルル。よろしく。呼び捨てでOKだよ」

子供達「よろしくー！！」

マルス「ちょっと、みんなー！！」

子供達（アルルを除く）「ああ！！マルス居たんだ！！！」

マルス「わっ、ひどいー！！」

とマルスは走り出した。

ネス「あっ！逃げたー！！」

リユカ「放っておこう」

ポポ「まあ遊ぼうー！！」

子供達「うん！」

とお昼までたっぷり遊びました。

久しぶりの本編！（後書き）

なーんか今回普通・・・。

感想、評価・・・、

お気に入りに入れてくれたら嬉しいです！！！！
待ってまーす！！

負けました・・・by作者(前書き)

アイク好きだー！！

°・・・*・・・°'°・・・*・・・° LOVE LOVE (・^
) °・・・・・・°'°・・・*・・・°

全員「・・・」あきれてる

みさメロン「やり過ぎた・・・」

アイク「・・・」

負けました・・・by作者

現在12:00

食堂

マスター「えー、全員そろってるか？」

全員「はい！」

マスター「では、昼食はバイキングだ。好きなだけ食べるがいい」

?&?「ヤッターーーーーー!!!!!!」

マスター「カービィとヨッシーは食べ過ぎるなよ!!」

カービィ&ヨッシー「ええええーーーーー!!!!!!」

クレイジー「マスター・・・」

マスター「ああ、わかってる・・・」

全員「？」

マスター「転送!!」

全員「!!!?」

マスターが転送してきた人物は――

みさメロン 「イヤッホー――!!!!」

全員 「はiiiiiiiiiiiiiiiiiiii!!!!?」

マスター 「作者からみんなに伝えたい事があるそうだ」

みさメロン 「では発表します!」

全員 「(ドキドキ・・・)」

みさメロン 「2週間後に何かしようと思うので体力作りをするように――!!」

全員 「はiiiiiiiiiiiiiiiiiiii!!!!!!??」 本日2度目

みさメロン 「じゃあ頑張つて――!!」

全員「待て待て!!」

みさメロン「何かある?」

全員「ちょっと待って!!」

みさメロン「仕方ない……。待ってあげるよ」

ソニック「ほら、アイク聞き出せ!」(小声)

マルス「そうだよ!」(小声)

アイク「だからなんで……」(小声)

ピーチ「前回のわかるでしょ?」(小声)

アイク「……」

サムス「頼むわよ!」(小声)

アイク「……別に誰が行っても同じだって」(小声)

リンク「たぶん無理だって……」(小声)

アイク「リュカでも大丈夫だと思うが……?」(小声)

リュカ「えっ!?ボク!?」(小声)

アイク「さっき言った通りだ」(小声)

リュカ「な、なんて言えばいいの・・・？」(小声)

マリオ「なら、二人で行け！」(小声)

アイク「やっぱり俺は行くはめになるのか・・・」(小声)

リュカ「・・・」

みさメロン「いい加減にしろー！！！！いつまで待たせる気だ！！」

リュカ「あ、あのね・・・」

みさメロン「リュカ・・・？どうしたの？それにアイクも！！！」

全員(二人を除く)「さっきの態度はどこに・・・？」

アイク「さっきの話、詳しく教えてくれないか？」

リュカ「ボクからも・・・、お願い！！」

みさメロン「ごめんね・・・。いくら二人、それもウチの好きな

キャラでも

「教える訳にはいかないから」

全員「ええええええー！！！！！！？」

「何よ……。秘密なんだから、教えないわよ？」

ネス「（こうなったら……。リュカ聞こえるかい？）」

リユカ^ㄣ（！？）_ㄣ

ネス「（リユカ、頑張って伝えて！甘えるんだ！！）」

「リユカ、（な、なんで！？で、出来ないよ……！？）」

ネス「（大丈夫！！ほら早く！！）」

リュカ「うん・・・」

「次に会うのは2週間後になるかな？それでは……！」

リュカ「待って!!」

「どうしたの？リユカ？」

リ
ユ
カ
「
・
・
・
」

「言ってくれないと……」

リユカ「ヒ、ヒントだけでもいいから……教えて……？」

みさメロン 「!!!? (かわいい・・・)」

アイク「それなら俺からも」

みさメロン 「うつ!!!」

全員「(よし!効いてる!!!もう少しだ!!!)」

リュカ「ね?お願い・・・」

アイク「なあ、お願いだ」

みさメロン 「し、仕方が無いなあー!!!教えてあげるよ!!!」

全員「イエーイー!!!」

みさメロン 「ヒントだけだ!」

全員「OK!!!」

みさメロン 「走れ!!!!!!!!!!以上!!!」

とマスターに転送されて帰って行った作者。

全員「は、走れ・・・？」

負けました・・・by作者（後書き）

なーんか今回も普通・・・

なんかアドバイスあつたらくださいーいー！
感想、評価くださいーいー！

マリオ「毎回それしか言っていないぞ！」

みさメロン「いいのおー！！」

ワユ「そつだそつだー！！」

マリオ「誰だよー！？」

みさメロン「ワユ」

マリオ「！？」

ワユ「よろしくー！！」

マリオ「えーと・・・」

みさメロン「剣使い」

マリオ「いや、そつじゃ無くて・・・」

みさメロン「では、さよーならー！ー！！」

マリオ「待てよ!」

みんなで競争！ part 1（前書き）

更新〜！！

1話の文字数は1000文字を目標に書いてるから連続で更新はあんまり無いんだよね〜。
いや〜嬉しいこと・・・

みんなで競争！ part 1

全員「走れって・・・ま、まさかな・・・？」

マスター「早く昼食済ませろ！」

現在 13:00

クレイジー「みんな、外に出ろ！！」

全員「！？」

マスター「今から、走ってもらう！！」

マリオ「マジかよ・・・」

ヨッシー「た、食べ過ぎて動けません・・・！」

マスター「だから食べ過ぎるなど言っただろう・・・？」

クレイジー「5km走ってもらう」

全員「5kmも・・・！！」

マスター「はぁ・・・。やっぱりな・・・」

クレイジー「しかし1位を取った者は1つだけ願いを叶えてやる」

全員「やる！！！！！！」

クレイジー「よし！！ルートは・・・」

ルート確認が終わり・・・

マスター「では、準備はいいか？」

全員「OK!!!」

クレイジー「それでは位置について……

ヨ
ー
イ
・
・
・

どん！！！！！！

いつせいにスタートし始めた。

ソニック「Hey!こんなの楽勝だぜ!!!」

?「そうはさせねーよ!!」

?とは・・・

キャプテン・ファルコンだ!!（初しゃべり・・・）

?「させるかー!!!!」

?とは・・・

フォックスだ!!（この動物も初しゃべり・・・）

次々と戦闘・・・いや先頭のソニックについて行こうと走り出した。

しかし中には・・・

？「つ、疲れた……。もう我輩はギブだ」

それは……

クツパだ。

そのクツパの前を走る？も……

？「俺も無理……」

ドンキーだ……。

1 km地点 - - -

1位突破は……

もちろんソニックだあ！！！！

ソニック「楽勝だぜ」

2位は・・・

キャプテン・ファルコン！！

キャプテン・ファルコン「これからだ！！」

3位は・・・

意外にもマルスだぁー！！！！

マルス「本気だすよ！・・・って『意外にも』というものは要らない！！」

4位はフォックス！

5位はシークだぁ！って何変身してんだぁー！！！！

6位はサ姆斯！（ゼロスーツサ姆斯）

同じく6位はアルルだぁ！！

アルル「うゝん、あと4kmか・・・」

1kmで脱落する者も・・・

1、クッパ 2、ドンキー 3、デデデ 4、ガノン
ドルフ

5、ワリオ ぐらい・・・（重量系が・・・）

ソニック「少し手加減しねーとな・・・」

キャプテン・ファルコン「待てーーーーー！！ソニック！！」

ソニック「Oh！！やっぱし手加減はなしだ！！」

アルル「疲れるなあ・・・」

マルス「1位、絶対取る！！俊足の名にかけて！！！！」

あのおく、初めて聞きましたけど・・・？

マルス「うるさいっ！！」

フォックス「マルス！お先にいーーーー！！」

マルス「ああ！！？」

フォックス「走る速度は3番目に速いからな！！」

マルス「そうはさせるか！！」

アイク「疲れる・・・。スキルの『俊足』つけるか・・・？&『ブ

「ッ」を使って

何でそこまでするの？

アイク「もちろん1位になって肉を・・・」

ああ・・・、なるほど・・・。

次回に続く！！

みんなで競争！ part 1（後書き）

みさメロン 「今回はグレイル傭兵団の現団長の妹！！

ミストが来てくれたよ！」

ミスト「こんにちわぁ！」

ルイージ「なんでやねん！！？」

みさメロン 「気にしない！！！」

ルイージ「するする！！！」

ミスト「お兄ちゃんはどこ？」

みさメロン 「アイクのところに連れて行くよ！では次回をお楽しみに！！！」

ミスト「では、また～！」

ルイージ「えっ！？終わり！？」

みんなで競争！ part 2（前書き）

みさメロン 「昨日の夕食は外食だった!!」

全員 「で？」

みさメロン 「・・・焼肉だった」

アイク 「焼肉!!!!？」

みさメロン 「あっ!!!!？」

マリオ 「それは禁句・・・」

アイク 「肉肉肉!!!!」

みさメロン 「わかったよぉ!!連れて行くから!!」

全員 「イエ~~~~~~~~イ!!!!」

みさメロン 「なんであんだ達のも・・・」

全員 「ごちになります!!!!!!!!」

みさメロン 「話聞け!!!!つま、マスターのおごりで行くか!？」

全員 「わあ~~~~~~~~い!!!!」

マスター 「はあ~~~~~~~~!!!!!!?」

後書きに続く・・・

みんなで競争！ part 2

ここはマスターが立ってる(?)

2 km 地点 - - -

1 位突破は . . .

ソニックだあ!!!!!!

ソニック「まだまだこれからだぜ」

2 位は . . .

キャプテン・ファルコンでーす!!

キャプテン・ファルコン「1 位はこの俺だあ!!」

3 位は . . .

マルスだぁー！！！！

マルス「余裕〜余裕」

？「誰が余裕だぁ？」

マルス「わっ！フォックス！！」

同じく3位にフォックスだー！！！！

フォックス「マルス悪いが1位は俺だぜ！」

マルス「させるものか！！」

5位にシーク！！

シーク「まだまだ・・・」

6位にアルル！！

アルル「あと3kmかぁ」

7位にサムス！！（ゼロスーツサムス）

サムス「あの子に抜かれた！！」

1ゝ7位の状況

キヤ

ソ

ア

サ

マ

フォ

シ

2 km地点

わかりずらいかも・・・

8位はピカチュウ！！

同じく8位にメタナイトだぁ！！

10位にトゥーンリンク！！

11位にディディーコング！！

？「疲れました・・・」

？とは・・・

ヨッシーだ！

ヨッシー脱落

剣士組が（マルス以外）一緒に走ってる・・・

リンク「俺たち今何位？」

ロイ「さあ？」

ピット「マルスとはして行ったね・・・」

アイク「そうだな・・・」

あれ？アイク、スキル『俊足』つけたんじゃない？

アイク「つけてる・・・」

えっ・・・！？

もちろん2kmで脱落するもの・・・

？&？「疲れたよぉー！！」

アイスクライマーのポポとナナだ。

？「もう、無理」

カービィだ・・・。

ここで順位を確認しますねー！ー！！！！

1位 ソニック 3 k m 通過

ソニック「1位になるぜ」

2位 キャプテン・ファルコン 3 k m 通過

キャプテン・ファルコン「ソニック~~~~！！！！！！」

3位 フォックス 3 k m 通過

フォックス「1位は俺がいただく！！」

4位 マルス 3 k m 通過

マルス「今はフォックスについていく！！」

5位 シーク 3 k m 通過

シーク「僕が1位に・・・」

6位 アルル 3 k m 通過

アルル「1位は無理かも……。でも頑張るよー!!」

7位 サムス（ゼロスーツサムス） 3 k m 通過
サムス「まだあきらめないわあ!!!!」

8位 メタナイト 2・9 k m 通過
メタナイト「トップに近づきたい・・・」

9位 ピカチュウ 2・9 k m 通過
ピカチュウ「メタナイトには勝つぞ!!」

10位 トウーンリンク 2・9 k m 通過
トウーンリンク「リンクより速く!!」

11位 デイディー・ドンキー 2・9 k m 通過
デイディー・ドンキー「ドンキーの分も!!」

12位 レッド（ポケモントレーナー） 2・8 k m 通過
レッド「頑張ろう!!」

13位 ピチュー 2・8 k m 通過
ピチュー「ピカチュウに追いつきたい・・・」

14位 ファルコ 2・8 k m 通過
ファルコ「ウルフには勝ちてーな」

15位 ウルフ 2・8 k m 通過
ウルフ「鳥いー!!」 ファルコの事

ファルコ「鳥っていうなあー!!」

16位 ネス 2.7km通過
ネス「マリオには負けないよお」

16位 マリオ 2.7km通過
マリオ「ネスには勝つ!!」

18位 ピット 2.7km通過
ピット「さっき話してたんだ!」

えっ?何を?

ピット「あんなかで負けた人は夕食は抜きつて!」

何決めてんだよ・・・

19位 アイク 2.7km通過
アイク「夕食抜きは嫌だ・・・」

ラグネル無いんだから頑張りなよ・・・。

20位 リンク 2.7km通過
リンク「アイクに負けてる・・・」

20位 ロイ 2.7km通過
ロイ「最後になりたくない!!」

22位 ルイージ 2.7km通過
ルイージ「兄さんに勝ちたい・・・」

あとは脱落者の紹介

1、クツパ

クツパ「1番か・・・（脱落したのが）」

2、ドンキー

ドンキー「デイディー、頑張れ」

3、デデデ

デデデ「5 k mなんて疲れるゾイ！」

4、ガノンドルフ

ガノンドルフ「ちっ・・・」

5、ワリオ

ワリオ「金が」

脱落

ここまでの5人が1 k m地点で

6、ヨッシー

ヨッシー「お、お腹が・・・」

1・5 k m地点で脱落

7、アイスクライマー（二人）

ポポ「疲れるね・・・」

ナナ「うん・・・」

8、カービィ

カービィ「頑張ったけどな」 この3人は2 k m地点で脱落

9、Mr・ゲーム&ウオッチ

Mr・ゲーム&ウオッチ「ザンネンデス・・・」

10、ロボット

ロボット「ツカレルコトハナイノデスガ」

11、オリマー

オリマー「やっぱり疲れます・・・」

12、リユカ

リュカ「だ、駄目・・・」

13、ピーチ

ピーチ「悔しいわぁ！」

14、プリン

プリン「ここまで頑張ったのに・・・でしゅ」

15、スネーク

スネーク「歳だ・・・」

16、ルカリオ

ルカリオ「もう少し行きたかった・・・」

17、ミュウツー

ミュウツー「・・・ふん」

この人たちは2・5km地点で

脱落

果たして誰が1位に・・・!!!?
続く・・・。

みんなで競争！ part 2（後書き）

全員「おいしかった！！！」

みさメロン「昨日ね、『とり』を焼いてて・・・そしたら・・・」

全員「そしたら・・・？」

みさメロン「ファイアー！！！！ってなったのさ！！」

全員「えっ！？」

みさメロン「『とり』と言えば・・・？」

フォックス「ファルコ」

みさメロン「正解！！だから、ああファルコ死んだ・・・って思った！」

ファルコ「ぎゃあああああーーーー！！！！！」

ファルコ死亡

みさメロン「では次回に〜！」

全員（ファルコを除く）「会いましょう〜〜！！！！！」

みんなで競争！ part3（前書き）

宿題終わらない（泣）

だけど更新！

全員「宿題しろ!!」

みんなで競争！ part 3

現在4km地点のクレイジーから中継が・・・

クレイジー「ああ。マイクテスト、マイクテスト」

何やってるんだー！！！！？

クレイジー「マイクテスト。っと！1位が見えて来てぜ」

おお！本当だ！

クレイジー「現在の1位は・・・2名だあ！！」

その2名とは・・・

ソニックとキャプテン・ファルコンだあー！！！！

ソニック「本気はまだだぜ」

キャプテン・ファルコン「俺もだ！！」

睨みながら1位を競ってるソニックとキャプテン・ファルコン！

しかーし！ファルコンは息が少し切れてきた！

キャプテン・ファルコン「大丈夫・・・」

とそこでアクシデント！！！！

ファルコンが倒れたーーーー！！！！

クレイジー「おい！？大丈夫か！！」

キャプテン・ファルコン「・・・（　　）」

クレイジー「棄権だな・・・」

まさかのファルコン棄権！！！！！！

と言つ事は・・・

ソニックが1位だああああー！！！！

ソニック「あれ？ファルコン倒れた！？・・・みんないねー」

そう、ファルコンと競争してたソニックぶっちぎりで走ってた・・・。

ソニック「・・・じゃあみんながくるまで・・・」

ソニック「！！！！！？？」

なんとソニックが見たものは・・・？

フォックス、マルス、アルル、シーク、サムスの姿だあ！！

ソニック「げっ、みんなで一氣に来たぜ・・・アルルもいる」

フォックス「なんでマルス、シーク、サムス、それと……………」

アルル「ぼくはアルルだよ」

フォックス「…………アルルもいるんだ!!?」

マルス「僕は君とずっと競争してたじゃないか!」

シーク「僕は君達二人を追っかけて…………」

サムス「私はアルルさんを追って来て…………」

アルル「ぼくは…………」

シーク「シークだよ」

アルル「シークさんの後を…………」

フォックス「だからってなんで同位なんだあ!!?」

マルス「そんな事言ってるうちに…………」

お先に!!!!」

4人「あっ!!!!?」

マルス「おっと！ソニック発見！！って・・・」

5人「なんで休憩！！！？」

アルル「ソニック、どんだけ余裕なの！！！？」

ソニック「あいつらのとこまで戻る」

ほんとに余裕の人（？）

アルル「って戻って来てる！！！」

マルス「どんだけ！！！」

ソニック「Hey！！！」

アルル「ソニック！！！」

ソニック「よう！アルル！！」

アルル「余裕だね・・・」

ソニック「Of course！！！」

アルル「でも負けないよ!!」

そう言つとアルルはある物を食べ始めた。

(もちろん止まって。でもその他の人は走ってる)

ある物とは……

『らっきょ』です。

5人「はい!!!!!!」

アルル「うん、おいしい！！カレーが食べたいなあ。・・・よぉー
ーし！」

と猛スピードで走り始めたアルル。（笑）

ソニック「俺も本気出すか！！」

さあ、誰が1位に・・・・・・・・！！！！？

マスターとクレイジーそれから脱落者&倒れたファルコン（笑）が
待つ5km地点〓ゴール地点・・・・・・・・

リュカ「あつ！！見えてきた！！」

オリマー「1位は・・・？」

現在1位はソニックだ!!!

でも負けじと他の人も懸命に走る!!!

1位は
-
-
-
-

フォックス「あんだけ頑張ったのに3位かよ・・・」

シークではなく・・・

ゼルダ「ふう・・・疲れましたわぁ・・・」

全員（その場にいる）「せこいつて!!!!!!!!!!」

サムス「あぁーあ、1位は無理だったか・・・」

その後に次々とゴールして来た。

あの剣士組の勝負は・・・

ドベは

ソニック「2週間後に行われることについて教えてくれ!」

全員(ソニックを除く)「えっ!!!!!!?」(てっきり自分の願いを・
・・)「

マスター「本当にそれでいいのか?(げっ・・・)」

ソニック「ああ・・・」

マスター「では、仕方があるまい・・・」

全員「・・・」

マスター「逃走中を行う・・・・・」

全員「（ああ、やっぱり……）」

クレイジー「知ったんだからしっかり走る事だな！」

逃走中と聞いたスマブラメンバー + a

でした……。

みんなで競争！ part3（後書き）

感想、評価くださいー！！

あと、逃走中の希望があればお知らせください。

ピーチ「やっぱり『感想、評価くださいー！！』って書くのね」

みさメロン「だって書かないと（感想）来ないんだもん・・・」

ピーチ「・・・」

みさメロン「というのは『どうでもいい！』」

本当にこんな曲を聴いてました（笑）
本当ですよ！！ボカロです！！
スマブラバージョンで

『ロイでどうでもいい！』っていう

の・・・を

ピーチ「余計な事言ってるわよ。っていうかあの人をどんだけ待たせてるの？」

みさメロン「そうだった！ティアマトさん！！」

ティアマト「遅いわよ・・・」

みさメロン「ゴメン。グレイル傭兵団の副長ティアマトさんに来てもらいました」

ティアマト「よろしく」

みさメロン 「えっと・・・、それでh・・・」

ティアマト「そっちではアイク、どう？」

ピーチ「ええ、とても楽しそうに」

つと、アイクの話をしてました・・・。

それでは・・・やりますか!!? (前書き)

今回、残念ながら1000文字いかず・・・

全員「1000文字書けよ!!しかも今日の話、適当ー過ぎる!!」

みさメロン「今日は体調があまりよろしく無かつたんだよ」

全員「今は?」

みさメロン「大丈夫!それでは短いですがどうぞ!!」

それでは・・・やりますか!!？

2週間後までにみんなはいろんな特訓をした・・・

マルスなんかは・・・

砂浜を走ったり。

そんな時に・・・

黒い箱を見つけた。

マルス「何だろう?」

中を開けてその中に入っていた物は?

黒い宝石が付いた指輪だった。

マルス「きれいだ……。もって帰ろう」

この指輪が逃走中の後に事件を起こす……。

2週間後……

みさメロン「やあー、どうも!」

全員「どうも!……じゃ無い!」

みさメロン「どうしたん?」

全員「何で教えなかったんだ!!?」

みさメロン「だってまだやろうか迷ってて・・・」

全員「・・・」

みさメロン「すごく短かったのですが次回逃走者の紹介です!」

全員「いやいや!!勝手に終わるなよ!!!!」

みさメロン「では次回に〜!!!!」

全員「(強制終了・・・)」

それでは・・・やりますか!!? (後書き)

ガキ使おもしろい!!

全員「確かに・・・(笑)」

みさメロン 「はい!笑った~~~~!!!!全員OUT!!!!」

全員「えっ!!!!!!!!?」

ばん ばん ばん ばん ばん ばん・・・x41回

全員「痛~~~~!!!!!!!!」

みさメロン 「ドンマイ!!!!」

逃走者紹介（前書き）

H A P P Y N E W Y E A R ! ! !

少し間に合わなかった・・・

今年もよろしく願いします!!!

全員「よろしく願いします!!!!」

逃走者紹介

スマブラ

マリオ

ルイージ

ピーチ

クッパ

ドンキー

ディディーコング

ヨッシー

黄色い太ったおっさん

黄色い太ったおっさん「なんだその名前……!!」

の

リンク

ゼルダ

シーク（クレイジーの能力で特別に）

ガノンドルフ

トゥーンリンク

サムス（ゼロスーツサムスで参加）

ピット

ポポ

ナナ

ロボット

カービィ

メタナイト

デデデ

オリマー

フォックス

鳥

鳥「鳥って書くなぁ……!!」

ウルフ

キャプテン・ファルコン

ピカチュウ

レッド（ポケモン禁止）

ルカリオ

プリン

ナルシスト　　ナルシスト「ナルシストじゃ無——い!!」

王子　　王子「ってわかんねーだろ・・・」

みさメロン　「団長だったら普通でさ・・・」

ナルシスト「それは僕だろ!!?」

みさメロン　「ウチの王子はアイクなの!!」

ナルシスト&（作者の）王子「・・・」

ネス

リユカ

Mr.ゲーム&ウォッチ

スネーク

ソニック

ロイ

ミュウツー

ピチュー

ぷよぷよ

アルル　　アルル「一人だけ・・・」

作者さんから

ほーき雲

スマッシュ

ダイヤ

しら

ryouki

風見ぼぼ介

河上ケイ（k）

紀葉

阪神虎之介

パルポン

ゆうたん

合計52名です！！

次回、ルール説明！！

逃走者紹介（後書き）

年明けピツタシは無理だった・・・。

これにて逃走者の募集を締め切ります！！
すみませんね！！

では次回に！！

ルール説明（前書き）

前回エリア紹介と書いてありましたが・・・

変更します！！ すみませんでした＞＜

ルール説明です！

それではどうぞ！！！！（ってあんまりおもしろく無い・・・）

ルール説明

みさメロン 「ではルール説明を・・・」

全員 「わかってます」

みさメロン 「・・・」

全員 「あっ・・・」

みさメロン 「みんなが・・・、みんなが・・・」

作者さん達 「どうぞ！！言ってください！！」

みさメロン 「はい！」

全員 「（ほっ・・・）」

みさメロン 「逃走時間は100分です。1秒につき200円上昇
（逃走成功120万円獲得）」

ハンターは4体。捕まれば賞金は0。自首も可能。
アイテムや公衆電話で

自首することが出来る。

逃走者は携帯で他の逃走者と連絡が可能。

まっ、こんな所ですかね？」

全員 「あれ？みさメロン （さん）はやら無いの？」

みさメロン 「はい・・・？」

全員「えっ……?」

みさメロン「ミッション考えたりする方なので……」

全員「はぁ……」

みさメロン「今回、みんなが逃げてもらうのはおよそ東京ドーム5個分の

巨大遊園地です!もちろん普通の客もいますので
ご注意を」

全員「結構広いか……?」

みさメロン「あと!ミッションには積極的に出た方がいいかと・
・」

スマブラメンバー + a^{アルル}「なんで?」

みさメロン「ミッションをクリアした人にはコインがもらえます!
!そのコインで

遊園地にある店で便利アイテムと交換できます。

ミッションに

よってもらえるコインが変わりますのでそこにと
こよろしく!」

作者さん達「はい!!!!!!!!!!」

全員(作者さん達を除く)「(やる気満々……)」

みさメロン 「さらに!!」

全員 「さらに!?!」

みさメロン 「ミッション1つクリアで1人復活出来るという!!」
「」

全員 「おおおお!!!!」

みさメロン 「みんな頑張ってくださいね!!ワ・リ・オ以外は!!」
「」

全員（ワリオ以外） 「はいいいい!!」

ワリオ 「なんでオレ様は!!?」

みさメロン 「スマブラしてたらずっとウチしか狙わないんだよ!!
!おまけにお前に

ウチのリユカがやられたんだよ!!そしてお前は
1位にいいいい!!

ム力つくんだよおお!!!!」

ほんとです。作者はゲームやっていて負けたら途
端に口が悪くなる。

ワリオ 「知るかよ・・・」

みさメロン 「だから!!お前以外を復活させる!!」

ワリオ 「はあ!!!!!!?」

全員（ワリオを除く）「ざまぁーーーー！！！！（笑）」

みさメロン「ん、ってことで次回オープニングゲーム！！」

全員（ワリオを除く）「絶対逃げ切ってみせる！！！」

みさメロン「みんなぁ！頑張ってね！！」

全員「おおーーーー！！！！！！！！」

みさメロン「ワリオはすぐに捕まってOKだから！」

ワリオ「・・・」

ルール説明（後書き）

次回をお楽しみに！！

感想、評価ください！！

ちなみに『あの人』や『あの人』など・・・

みさメロン が好きなゲームから逃走中内に出るかも・・・！？

（ミッション側で）

オープニングゲーム・・・まで行かなかったby作者(前書き)

全員「なんだ！？このタイトル！！？」

みさメロン 「誰かさんのせいで無理だった・・・」

今回から(いや前回からか?)ワリオの扱いがひどいです・・・。
もし逃走者にワリオ好き、この小説を読んでも方にワリオ好きな方が
いたらほんとすみません！！

みさメロン 「そして、オープニングゲームまで行かなくてすみません！！」

オープニングゲーム・・・まで行かなかったby作者

みさメロン 「では、オープニングゲームを・・・」

ゆうたん 「ちよつと待って!」

みさメロン 「何でしょう?」

しら 「携帯と地図が配られてません!」

みさメロン 「あっ・・・」

全員 「(『あっ・・・』って)」

みさメロン 「すみません!」

と言う訳で・・・

携帯と地図を配りわけ・・・(1人を除いて)

みさメロン 「では、改めてオープニングゲームを・・・」

? 「待て!」

みさメロン 「どうかされましたかおデブさん?」

デブ 「デブじゃねー! てか、問題はそこじゃねー!」

ダイヤ 「早くしろ!」

ほーき雲「そっだよ！」

スマッシュ「早く逃走中やりたいんだけどー！」

デブ「オレ様にはねーのかよー！！？」

みさメロン「みなさん、やりますy・・・」

デブ「だから、待てー！！オレ様には・・・」

みさメロン「ありません（ニッコリ）」

ryouki「用件済んだようですしー」

紀葉「やりましょうー！！」

全員（デブを除く）「はいー！！！」

デブ「オレ様は不利じゃねーか！」

みさメロン「・・・。そんなに欲しいか？」

デブ「当たり前だろー！！」

みさメロン「じゃ自腹で」

デブ「はあー！！？」

みさメロン「逃げ切れればいい、それだけだろ？」

全員（デブを除く）「（確かに）」

デブ「ま、まあ・・・確かに」

とそんな時にこんな言葉が聞こえてきた。

？「遊園地のガイドはいりませんか？今なら携帯も！！！！」

アイク「（えっ・・・！？この声って・・・）」

みさメロン「どうした、アイク？（わかったばいな・・・）」

アイク「い、いや・・・」

その正体とは・・・？？

アイクの妹、ミストでした！！

アイク「ミストなんでここに!!?」

ミスト「あっ!お兄ちゃん!」

マルス「あっ・・・シスコン!」

アイク「シスコンじゃ無い!!!」

マルス「聞こえてたか・・・」

パルポン「いや、普通に聞こえてる」

マルス「・・・」

みさメロン「ミスト、ごくらうさん!」

アイク「!?!」

デブ「おい!オレ様にそれをよこせ!!!」

ミスト「は、はい……。お値段は・・・」

みさメロン「ミストに変わって答える。50万円」

デブ「!?!?!?」

みさメロン 「あれゝ、得だと思っただけどゝ？」

デブ 「得なわけ無いだろ！？」

風見ぽぽ介 「得だと思っけど！？」

阪神虎之介 「特に決まってるな！」

みさメロン 「逃走成功したら120万円。それが50万円。

残りは70万円は自分の好きなように使えばいい」

デブ 「むむむ・・・」

みさメロン 「さあどうする・・・？」

デブ 「買っわー！！！」

みさメロン 「毎度ゝ（バカめ・・・）」

全員（デブを除く） 「（何かたくらんでる・・・）」

？ 「おい、ミスト！！！」

アイク 「この声は・・・」

ミスト 「ボーレ！どうしたの？」

ボーレ 「あれが売れたかと思ってさゝ。・・・って、アイク！！ち

「ようど良かった！」

アイク「なんでお前達が・・・？」

みさメロン「ウチが頼んだのさ」

アイク「何勝手に頼んでんだ・・・」

みさメロン「前、出したけどしゃべらなかつたから・・・」

アイク「・・・」

ボーレ「アイク！これ、ティアマトさんから頼まれた」

アイク「なんだこれ？」

と紙を見ると・・・

『作者（みさメロン）に渡してください』

アイク「ここにいるんだけど・・・」

みさメロン 「ティアマトさんから？何だろう・・・（あっ、もしかして）」

アイク「何だっただ？」

みさメロン 「ん？何でも無いよ」

全員（デブを除く）「（絶対なんかある・・・）」

みさメロン 「ほれ」

デブ「何だ？この紙切れ？」

みさメロン 「今見るか？」

デブ「もちろんだ！もしかしたら割引かもな・・・。ワハハハハ！」

河上ケイ（k）「何か、仕掛けがあるんですか？」

みさメロン 「もう少しでわかりますよ！」

なんと書いてあったものは・・・

『強制終了です b yみさメロン &マスター&クレイジー』

デブ「はあああああー！！？！」

全員（デブを除く）「イエーーーーー！！！！！」

みさメロン「では、デブは牢獄へー！」

デブ「なんだよ！！それ！！！！」

みさメロン「見たんだもん、それはお前が悪い！おい！！！！」

全員「????」

来たのは・・・

ガトリーです。

アイク「お前もか・・・」

みさメロン「ガトリー牢獄へあいつ入れて」

ガトリー「了解！」

牢獄にデブが入りました。

みさメロン「デブのせいでオープニングゲームまで行かなかった
！！！！」

全員（デブを除く）「ふざけるなあーーーー！！！！！！！！」

みさメロン 「残念ながら次回にオープニングゲームになります！
」

デブ「オレ様を出させ」・・・」

全員（デブを除く）「黙れや！！！！！！」

と最後のきりふだでぼこしました！（笑）

オープニングゲーム・・・まで行かなかったby作者（後書き）

みさメロン 「こんな感じでワリオの扱いが悪いです」

ダイヤ「まあ、全然いいと思うけど・・・」

みさメロン 「そうですか？」

しら「僕もいいと思います」

みさメロン 「あと、言い忘れてましたが・・・」

全員「なんですか？」

みさメロン 「更新遅れます!!!」

全員「えっ!!!?」

みさメロン 「それからもう一人参加することが決まりました!」

全員「えっ!!!?誰!!!?」

みさメロン 「それは次回へのお楽しみってことで!!!今回はこれで!」

オープニングゲーム part 1（前書き）

更新遅れてすみません！！！！！！><
しゅ、宿題が終わらずに・・・

全員「何の宿題が終わって無かったんだ？」

みさメロン「ほとんど・・・！！！！」

全員「おい！！！！って終わったのか？」

みさメロン「まだです・・・」

全員「何やってんだ！！明日から学校だろ！！？」

みさメロン「だって！百人一首覚えてんだぞ！！かなりきついんだぜ！！？」

全員「何かキャラ崩壊してる・・・男か？」

みさメロン「うっさーーーーい！！！！」

オープニングゲーム part 1

みさメロン 「オープニングゲームを始める前に……。1つ報告が……」

ネス「前回の後書きの事？」

メタナイト「新しい逃走者が来たとか？という話か……」

みさメロン 「そうだよ！ではさつそく……」

瑞希優羅「瑞希優羅です！これからよろしくお願いします！！」

全員（デブを除く）「よろしく！！！」

みさメロン 「では、さつそくオープニングゲームに入ります！」

全員（デブを除く）「イエーイー！！！！！！！」

みさメロン 「20メートル先にある鎖を1本選び引きます。もしハンター放出の鎖を

引いたらゲームのスタート。今から鎖を引く順番を決めたいと思います！」

じゃんけんで決めました。

まず1人目！

アルル「えっ！？ばくか……。．．．いつきまゝす！！」

ゆうたん「何色？」

アルル「うゝん、黄色で！」

スマツシュ「理由は？」

アルル「ぼくの相棒の色だから！ずっと一緒だから大丈夫だと．．．
思う．．．」

マルス「（えっ．．．）」

アルル「合宿に来たからどうしてるか心配だよ」

ソニック「まあ、いいから引こつぜ」

アルル「そうだね！」

じゃー！

セーフだ・・・

アルル「よかった！・・・？なんか書いてある」

みさメロン「おめでとう！アイテム獲得！ここの中から選んで、ちなみにアイテムは」

アイテム一覧表

無敵サングラス：2分間ハンターから追われなくなる

冷凍銃：1体ハンターを消せる

自首ボタン：公衆電話で自首報告しなくてもボタンを押すだけで自首が可能

激辛ドリンク：飲むとかなり辛いが動きがかなりよくなる

ホームランバット：当たればハンターを遠くに飛ばせる

スマートボム改：1分間後に電気が走るようになって、ついていた逃走者が強制失格

こんな感じ・・・場合によって増えるかも！？（各3個ずつ）

ルイージ「スマートボム改って・・・」

みさメロン「自分につけられているのに気がついた時他の人にもつけれることが可能」

ほーき雲「音みたいなのが鳴るんですかあ？」

みさメロン「鳴らないのでご注意！」

逃走者（『デブを除く』）「ほんと、気をつけておかないと・・・」

アルル「うゝん。自首ボタンで！」

みさメロン「はゝい！」

アルル「では、お先にー！！」

2人目！

河上ケイ（k）「僕です！！」

マリオ「何色だー？」

河上ケイ（k）「赤でー！！」

ピーチ「何でー？」

河上ケイ（k）「何となくー！運は良い方なんで！！」

クツパ「そんなんを決めるのか・・・」

河上ケイ（k）「行きまー！す！！」

じゃら！

セーフだ・・・

河上ケイ(k) 「僕は何も・・・」

みさメロン 「残念！はずれです！！」

河上ケイ(k) 「まあ・・・、頑張ろう！！」

その後メタナイト、ネス、トゥーンリンク、ドンキーの4人クリア！しかしアイテムは出ず・・・。

7人目！

マリオ「俺だな！」

リンク「何色ですかー？」

マリオ「うーん、赤取られたし・・・。白で行く！！」

フォックス「なんd・・・」

じゃー！

その場にいる人「おい！！！！！！！！」

セーフだ・
・
・

マリオ「おっ！何か書いてある！何々・・・？」

マリオ「……………」

その場にいる人「???」

マリオ「マンマミーヤ……! ……! ……! ……! ……! ……」

その場にいる人「!!!!!!?？」

みさメロン 「えーっつと！『強制失格』・・・（笑）」

ルイージ 「はは！兄さんもう脱落！？」

パルポン 「（ふん！いい気味だ！！）」

残る逃走者51人！

残る鎖45本！

次回に続く！！

オープニングゲーム part 2（前書き）

今日から学校おゝ。

全員「ドンマイ!~!」

みさメロン「さらに休み明けテストおゝ」

全員「ドンマイ!~!」

みさメロン「明日もおテストおゝ」

全員「ドンマイ!~!~!つて、おいっ!~!勉強しろ!~!勉強!~!」

みさメロン「めんどいいゝ」

全員「だからバカなんd...」

みさメロン「んだとお!~!~!~!?!?」

全員「こわあ!~!~!~!い!~!~!」

オープニングゲーム part 2

8人目！

しら「僕ですね！」

サマス「何色ー？」

しら「緑で行きますー！！」

ルイージ&その他の緑キャラ「取られたー！！」

しら「行きますよー！えいつー！！」

じゃら！

セーフだ・・・

しら「ふう・・・、何か書いてる『アイテム獲得』だつて！」

みさメロン「おめでとつづねいますー！！」

しら「うーん何にしようか？・・・冷凍銃を！」

みさメロン「はい！」

しら「どうもー！」

9人目！

風見ぽぽ介「僕です！」

ナナ「何いr・・・」

風見ぽぽ介「オレンジで！」

ポポ「何d・・・」

風見ぽぽ介「行きますね！おりゃっ！」

じゃー！

セーフだ・・・

風見ぼぼ介「何も無い・・・残念だ」

みさメロン「まあ！ミッション頑張ってアイテムもらってください！」

風見ぼぼ介「はい！では！」

10人目！

ルイージ「ぼ、僕だ・・・」

ウルフ「絶対引くぞ・・・」

ルイージ「失礼な！！」

鳥「で？何色だぁー？って鳥って書くなぁー！！！！」

ルイージ「黄緑で・・・」

カービィ「逃げる準備」

ルイージ「だから失礼だつて！！」

シーク「いつでもOKだよ」

ルイージ「・・・行くよ！」

じゃら！

セーフだ・・・

その場にいる人「えっ！！？」

ルイーダ「イエーイー！！・・・何も無い」

11人目！

ダイヤ「うわぁー！嫌な予感・・・」

ソニック「何色だイヤ？」

ダイヤ「（ぶちー！！）」

ソニック「あ・・・」

ダイヤ「ソニックー！！！！！！？」

ソニック「サーセン！！！！」

ダイヤ「・・・ふう。シルバー行くよ!!」

じゃら!

セーフだ・・・

ダイヤ「ん?『コイン獲得』かあ!」

みさメロン「10枚獲得です!」

ダイヤ「ありがとうっ!ではガンバ」

12人目!

ガノンドルフ「俺か・・・」

ピカチュウ「次こそ来るぞお・・・」

ガノンドルフ「黒にする」

その場にいる人「ハンターカラーじゃん!!」

ガノンドルフ「行くぞ!」

その場にいる人「待てー!ー!ー!ー!」

ガノンドルフ「ふんっ!!」

じゃら!

ガコン！！！！

プシュ——！！！！！！！！！！

その場にいる人「ギャーーーーー！！！！！」

！！！」

ハンターが狙う者は・・・

ガノンドルフだ・・・・・・・・・・

ガノンドルフ「くそお!!!!!!!!!!」

ポン！

ガノンドルフ確保！残る逃走者50人！

アルル「メールだ！」

メタナイト「『ガノンドルフがハンターの鎖を引きゲームがスタート』か」

ドンキー「逃げ切るぞ」

こうして逃走中が始まった・・・・・・・・・・。
果たして逃げ切る者はいるのか・・・・・・・・！！！！？

次回ミッション!!!!

オープニングゲーム part 2（後書き）

はぁ……。社会の勉強すつかぁ……。

ゼルダ「あら？まだ終わってないの？冬休みの宿題？」

みさメロン「社会は明日提出だから」

ピーチ「早くしないと……」

みさメロン「だーっってめんどくさいんだもん……」

全員「これだから……バカなんだ……」

みさメロン「（ぴきっ！）」

全員「あっ……、やばっ……」

みさメロン「あんたら覚悟しとけえーっ！」

全員「やっぱしー……！！！！？」

サムス「……で明日のテストは？」　ボロボロ

みさメロン「国語と社会」

ネス「なら頑張りなよ……」　ボロボロ

みさメロン「国語は漢字だしいけると思う。まあ社会も大丈夫！

たぶん・・・」

全員「たぶんかよ!!」　ボロボロ

みさメロン「では次回に」

ダイヤさん！少しキャラ崩壊してすみません><

これってミッション？by逃走者（前書き）

今日、いろいろ大変だった・・・。

全員「テストが？」

みさメロン「いや。長くなるけど・・・。

県に住んでるんだ

けどー」

全員「何？」

みさメロン「やつぱし、いいやー!」

全員「はいい!?!?なんで!?!?」

こねってミッション？by逃走者

プルル〜プルル〜

ルカリオ「メールか・・・」

ほーき雲「『ミッション！』おっ！ー！ミッションか！ー！」

ryouki「『スタート地点にまだオープニングゲームで引いた鎖が残っている』」

ちなみに の2人は一緒にいます。

紀葉「『鎖の本数は40本。そのうち強制失格のカードが2つ』」

スマッシュ「『残りはずれかアイテム獲得か賞金など当たる』」

瑞希優羅「『あんまりミッションになって無くてすいません・・・』」

リユカ「『ミッションに参加したものはコインがもらえるので』か

あ・・・」

ちなみに の3人はたまたま一緒にいます。

阪神政虎「『コインはお土産ショップに行けばアイテムと交換が出来るですん』」

ピーチ「40本のうち2本が強制失格か。でも、もしかしたら復活カードも!!」

ピーチは強制失格になったマリオを助けたいらしい・・・
だがしかしそこに

ハンターだ・・・

ハンター「!!」

ピーチ「うーん、どうしようかなあ」

まだ気付かないピーチ!

ハンター「(もらった!!)」

ピーチ「行く!!!ってハンター!!!?」

ポン！

ピーチ確保！残る逃走者49人！

クッパ「メールか！！」『ピーチがミッションに行こうか迷ってる
ところにハンター

が来て確保。残る逃走者49人』ピーチがつ！！」

ゆうたん「行こつかなあー？ねえ、ポポとナナは行く？」

ポポ「アイテム欲しい」

ナナ「私も」

ゆうたん「だったら行こつか？」

ポポ&ナナ「うん！」

スタート地点・・・（オープニングゲームを行ったところ）

みさメロン「誰か来ないかなあ」

ミスト「お兄ちゃん来ないかなあ」

みさメロン 「やっぱりアイク、逃げ切って欲しい？」

ミスト「うん」

みさメロン 「そっか・・・あっ！！噂をすれば来たよ！アイクが」

アイク「引かせろ」

ミスト「何本までいいの？」

みさメロン 「2本までね」

アイク「わかった・・・」

ミスト「何色？」

アイク「1本目はあいいろだ・・・。行くぞ！！」

じゃら！

何も無い。

アイク「違うか。次は紫で行く！」

じゃら！

アイテム獲得！

アイク「よし！！自首ボタンをくれ」

みさメロン「了解」

アイク「じゃあな、ミスト」

ミスト「頑張つてー！！」

みさメロン「おっと！次が来たね！」

マルス「引くよ！」

みさメロン「どうぞ」

マルス「水色で！えいつ！！」

じゃら！

何も無い。

マルス「無い……。ねえ、何回引けるの？」

ミスト「2回までね！あと1回だよ」

マルス「最後はピンクで！えいつ！」

みさメロン「うえ・・・」

マルス「べ、別にいいじゃないか！！」

じゃら！

何も無い。

マルス「（ロ　１１１）ガン！！」

みさメロン「ドンマゝイ！！」

ミスト「あつ！また来たよ！！しかも３人で」

ポポ「引いてもいい？」

みさメロン「１人２回までだからね！ってゆうたん！！」

ゆうたん「どうも」

ポポ「空色で」

じゃら！

何も無い。

ポポ「何もな〜い!!!!><」

ナナ「次はわたし!!桜色で!えいつ!」

じゃら!

何も無い。

ナナ「わたしもな〜い!!!!><」

ゆうたん「次はゆうたんが〜!ゴールド!!えいつ!!」

じゃら!

賞金獲得!!

ポポ&ナナ「おおー!!」

みさメロン「ゆうたんには5万円を!!」

ゆうたん「ヤッター!!では、ゆうたんはもう行くよ!!じゃあね〜」

プルル〜プルル〜

ナナ「メールだ！」

ポポ「『スタート地点付近でミッションに行こうとしたクツパ確保！残る逃走者48人！』」

クツパが捕まった訳・・・

クツパ「ミッションに行ってピーチを助けに・・・ってハンター！
！？」

ハンター「！！」

クツパ「は、速い！！」

ポン！

クツパ確保！残る逃走者48人！

と、いう訳だ。

ナナ「あれ！？ハンターだ！！」

ポポ「に、逃げろー！！」

ハンター「（見つけた！！）」

ポン！ ポン！

アイスクライマーのポポとナナ確保！残る逃走者46人！

次々と確保される逃走者！！

果たして逃げ切る者はあるのか！！？

次回本当のミッション！！

にれってミッション？b y逃走者（後書き）

本当にいろいろとめんどくさい事になったよ。

全員「だから何？」

みさメロン「帰るのが遅くなった」

全員「それだけ！！？」

みさメロン「それまでが長くなるので話さない」

全員「ええー！！！！？」

みさメロン「知りたければ教えてあげますけど・・・」

会話してない作者さん達！！

次回はしゃべるので許してください><

本当のミッション1！（前書き）

記念すべき20話突破！

全員「まだ20話かい！」

みさメロン「うるさい！！」

本当のミッション！

プルルプルル

ダイヤ「えっ！？『本当のミッション』だって！！？」

しら「『ミッション1！謎の7人組の集団が現れた。7人組の集団は逃走者を見つけたら

通報する』えっと・・・、裏切り者みたいなもんだね」

パルポン「『それを止めるにはスタート地点（オープニングゲームを行ったところ）か

お土産ショップに行き、網鉄砲をもらうしか無い』」

ピット「『各10個ずつ、計20個ある』結構用意してんだね」

風見ぱお介「『やるかやらないかは逃走者の自由』・・・、行きましょう！ー！ー！」

みさメロン 「あっ……。忘れてた（笑） 7人組の特徴書くの」

プルル〜プルル〜

ネス「あっ！またメールだよ！！」

河上ケイ（k）「『7人組の特徴を書き忘れてたのもう1度メールをした』特徴無いとね」

スマッシュ「『7人組はそれぞれ武器を持っている。襲っては来ないので安心して』襲って

来たら大変な事になるし！！」

ほーき雲「『1人目は美しい銀色の髪、武器は魔道書、女』……！！ハンター！？」

ハンター「（見つけた！）」

ほーき雲「まだ距離あるから大丈夫撒ける!!」

ほーき雲は角を曲がりメリーゴーランドの近くに来た。

ハンター「（見失った・・・）」

うまく撒いたようだ・・・。

ほーき雲「あつぶねー!!!!・・・続き!続き!」

カービィ「『2人目は茶髪、武器は剣、男』めんどくさそうだな、行かない」

カービィは2人目を見た時点でミッションに行かない事に決めた。

ryouki「『3人目は黄色髪、武器は弓、男』なるほど・・・」

紀葉「『4人目は茶髪、武器は斧、男』茶髪2人目か。ドンキー、みんなのため行こうかな」

フォックス「『5人目は黒髪、武器は杖、女』コインがもらえるし行くか！」

ウルフ「『6人目は黄緑色の髪、武器は槍、男』鳥はともかくフォックスには負けねー！」

とウルフの近くにハンターが・・・。

ハンター「（いないっかな）」 ふざけてみた

ハンターはウルフがいるのにまだ気付かない・・・。

ウルフとハンター、どちらが先に気付くか・・・！！！！

ウルフだ・・・。

ウルフ「やつべー・・・、ハンター居るし！ここは逃げよう！」

ハンター「（いないっかな）」 またふざけてみた

ウルフはハンターから見つからずにすんだようだ・・・。

瑞希優羅「『7人目は緑髪、武器は短剣、男』なるほどね、行くかな」

阪神政虎「『7人目は通報する事が出来ない』よし！！！！・・・！？」

ゆうたん「『が、しかしアイテム（逃走者）を盗むので注意する事』えーっ！？」

ソニック「『&7人目は城に向かっている』何だっ！？」 遊園地に城（笑）

アルル「『城の中にはハンターボックスが3つ』うわぁ・・・」

ダイヤ「『阻止するには7人目を網鉄砲で捕まえるしかない』大変そうだけど行く！！」

ちなみに この3人は一緒にいます。

しら「『と言う訳でいきなりだがダブルミッションだ！残り80分までだ』」

ルイージ「『頑張りたまえ！』 無茶苦茶だな……。しらさんは行きますか？」

しら「僕は行くよ！！ルイージは？」

ルイージ「僕も行くよ！」

しら「じゃあ！」

ルイージ「僕らはお土産ショップの方に行こう！！近いし！」

しら「OK！」

アイク「ま、まさかな……」

正体に気付いたアイク！！
ミッションには向かうのか！！？

なんといきなりダブルミッション！！！！
ミッションに向かう者は何人いるのか！！？

残り時間 9 3 分 ! !

本当のミッション1！（後書き）

本当に 県に住んでるウチ大変だな・・・
ニュース見てたらウチの住んでるところばれそう・・・

全員「そういうからだろ!!」

みさメロン 「感想、評価ください!!」

全員「話を逸らしやがった!」

本当にいろいろと大変なんだよね
部活出来ないし・・・。

まあ宿題すっか!

全員「まだだっ たんかい!!」

ダブルミッション実行中！（前書き）

今回は少し長いですが！
逆に長すぎたかも・・・。

ダブルミッション実行中！

ミッションに向かう人は・・・？

1番乗りに来たのは・・・？？

しらとルイージ組の2人だ！！

しら&ルイージ「網鉄砲ください！！」

？「わかりました！・・・はい、網鉄砲になります」

しら&ルイージ「ありがとう！！」

ちなみに？とは・・・

キルロイです！（笑）

キルロイ「なんで笑うんですか！？せっかく手伝っているのに！！」

ごめん、ごめん！

しら「えーと、僕は東の方に行ってみるよ！ルイージは？」

ルイージ「じゃあ逆の西に行くよ！では、お互い頑張ろう！！」

しら「そうだね！」

パルポン「あつ！オレも7人組の正体がわかった！！ミッションに向かうぞー！！」

とパルポンの近くにハンター・・・

パルポン「うわっ！ハンターじゃん！逃げなきゃ」

ハンター「（見つけた！！）」

パルポン「に、逃げろー！！」

と角を曲がって？と出会った。？とは・・・

オリマーだ・・・。

オリマー「パルポンさんどうして・・・」

パルポン「(うわっ！嫌な奴にあつた！それより逃げなきゃ！！)」

オリマー「・・・っえ！！？ハンター！？」

ハンター「(ターゲット変更！！)」

オリマー「まだ捕まりたく無いですっ！！」

ポン！

オリマー確保！残る逃走者45人！

ブルル〜ブルル〜

レッド「メールだ！」

ピカチュウ「『オリマー確保！残る逃走者45人！』」

みさメロン「オリマーの確保情報簡単すぎた・・・」

ミスト「あれ！！？お兄ちゃん！！？」

アイク「網鉄砲くれ！！」

みさメロン「はいよう」

アイク「ありがとう」

とすぐその場を離れた。

アイク「はあ、作者はめちゃくちゃだな・・・。まさかあいつらまで呼ぶとは」

そうもつ何でもありますから！！

アイク「・・・」

とアイクの元にパルポンが来た。

パルポン「アイク！ミッションか？」

アイク「ああ、俺には7人組の正体がわかるからな。で、パルも行くのか？」

パルポン「うん、オレも正体わかったからな！」

アイク「そうか・・・ならお互い頑張ろうな」

パルポン「ああ！」

アイク「さて・・・、『サザ』殺るか・・・」

あのおくアイクさん、地味に怖い事言ってるから・・・。

アイク「それは嘘だ・・・。気を付けておかんとって！！今誰か！？」

？「ふっ・・・、アイク団長するのはさすがに怖いな・・・」

アイク「まさか！！」

ゴソゴソ

アイク「くそ！！やられた！」

アイクは自首ボタンを盗まれてしまった！！

アイク「って事は『サザ』かぁ！！！！！！待て『サザ』！！！！」

？の正体とは・・・

『サザ』という7人目の男だ。

サザ「嫌な予感……。城を目指して行くか！！」

？「観覧車付近にトゥーンリンクがいます！」

そうこの？は……

ミカヤと言う1人目の銀色の髪をした女だ。

トゥーン「ハンターに気を付けながら……、さらに謎の7人組の集団にも気をつk……」

ハンター「（見つけた！）」

トゥーン「って！！ハンターじゃん！！」

ポン！

トゥーンリンク確保！残る逃走者44人！

トゥーン「言ってる間に確保かよ……」

ミカヤ「無事、捕まえる事が出来たようね……サザは大丈夫かしら？」

しら「あ！！あれ！！？」

しが目にした者とは……

謎の7人組集団の4番目の『ノイス』と言う男を見つけたようだ！

しら「慎重に、慎重に……」

ノイス「む！しがコーヒークップの付近にいます！！」

しら「や、やばい！！」

バー……ン！！！！！！

ノイス「う、うわっ！！！！」

しら「ヤッター！！って喜んでる場合じゃない！！逃げる！！！！」

ハンター「（どこだ！！？）」

しら「はぁ……、はぁ……1人目確保！！」

プルルプルル

ロイ「うん！！？メールだ確保情報か！！？」

サムス「『しらの活躍があり4人目のノイスと言つ男を捕まえる事に成功！』さすが！！」

ルイージ「あわわ・・・、しらはクリアしたのか・・・僕も頑張らなきゃ！」

別の場所が変わって・・・

ダイヤ&ソニック&アルル「網鉄砲ください！！」

キルロイ「わかりました！こちらが網鉄砲になります」

3人「ありがとう！！！」

ダイヤ「って訳でどっち行く？」

ソニック「俺、観覧車とか居そうだから行って来るぜ」

2人「気を付けて」

アルル「じゃあ、どうしよつか？」

ダイヤ「南に進んでく!!」

アルル「じゃあぼくは北に!!無事確保情報が流れるよう頑張りますよう!!」

ダイヤ「そうだね!!」

次々とスタート地点やお土産ショップで網鉄砲を獲得した逃走者。

ほーき雲、スマッシュ、ryouki、瑞希優羅、河上ケイ(k)、
風見ぽぽ介、

パルポン、阪神政虎、紀葉、ゆうたんと作者さん達は全員参加する
そうだ!

スマブラメンバーでは(あと残り4つ)

フォックス、マルス、ファルコンだ・・・

残るは1つ・・・。スタート地点の方にラストが残ってる。

残り時間88分!!

ミッションはクリア出来るのか!!?

ダブルミッション実行中！（後書き）

しゃべれなかった作者さん！！
すみません！！><

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4907z/>

合宿です！！全員集合！！

2012年1月13日23時01分発行